

サッカーワールドカップ日本代表は、ブラジルに1-2で敗れ、ベスト32という結果となりました。当科でも科を挙げてプロスポーツチームやアマチュアアスリートをサポートしており、私自身もスポーツ観戦が好きなため、ワールドカップ期間中は寝不足が続きました。ブラジル戦では素晴らしいプレーが数多く見られただけに結果は残念でしたが、今大会の日本代表は主力選手に故障者が多い厳しい状況の中でも、多くの選手が実力を発揮し、最後まで堂々と戦い抜きました。その健闘に心から敬意を表するとともに、最大の賛辞を贈りたいと思います。

今大会で特に印象に残ったのは、暑さ対策です。アメリカ会場ではグラウンドに空調設備が整えられ、快適な環境で試合が行われたため、ハイドレーションブレイクは不要との声もあったようです。一方、メキシコ会場ではそのような設備はなく、日本とチュニジアの一戦は現地時間22時開始という、あまり例のない時間帯で開催されました。今大会で最も遅いキックオフだったようですが、それでも試合前のスタンドは気温28℃、湿度80%近くという蒸し暑く過酷な環境であったと報じられています。

近年、気温上昇を伴う異常気象は世界各地で深刻化しており、これまでエアコン設置の習慣がほとんどなかったフランスでも、その必要性について真剣な議論が行われているようです。日本でも相変わらず厳しい暑さが続いています。従来は35℃以上を「猛暑日」と呼んでいましたが、40℃以上という危険な暑さがみられる機会が増えてきたことから、より強い警戒と熱中症予防を呼びかけるため、今年から最高気温40℃以上の日を「酷暑日（こくしょび）」と呼ぶことになりました。

40℃という気温は想像を超える暑さですが、今年9月から10月にかけては、32年ぶりに日本で開催される第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）が控えています。私たちにとって地元・愛知で開催される国際競技大会であり、医療面を中心にしっかりと協力していきたいと考えています。一方で、暑い名古屋では、サッカーワールドカップで見られたような暑さ対策も重要になるかもしれません。大会期間中、大きな事故や体調不良者を出すことなく、多くの人々がスポーツを楽しみ、アジア競技大会が大成功のうちに幕を閉じることを心より願っています。

さて、本号の特集は「整形外科領域における疫学研究の最前線」です。企画をご担当いただいた吉村典子先生をはじめ、貴重な原稿をご寄稿いただいた著者の先生方に、心より御礼申し上げます。本特集では、大規模追跡研究であるROADスタディ、Yakumoスタディ、JPOS研究に加え、地域住民を対象とした特色ある運動器疫学研究として松代膝検診、おぶせスタディ、のべおか骨太プロジェクトが紹介されています。様々な運動器疾患に関する課題に対し、疫学的アプローチによって明らかにされてきた知見がわかりやすく整理されており、国内における疫学研究の歩みと最新の成果を俯瞰できる内容となっています。

本特集をお読みいただくことで、国内の疫学研究の現状と今後の課題を理解するとともに、日常診療や整形外科疾患の予防につながる新たな視点をいただけるものと確信しています。読者の先生方にとって明日からの診療や研究に役立つ有意義な特集となり、新たな研究や実践へとつながる契機となれば幸いです。

（今釜史郎）

「整形・災害外科」第69巻 第9号（8月号） 2026年8月1日発行（毎月1回1日発行） 定価3,190円（本体2,900円＋税10%） 年間購読料金 定価49,940円（本体45,400円＋税10%） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 前田達也 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036
--	--

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・教育機関、医療機関、企業などにおいて本誌を無断で複製すること（コピー、スキャン、デジタルデータ化など）は「私的使用」など著作権法上の限られた例外にはあらず、違法となります。また、限られた例外に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して複製を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
- ・本誌をAI（人工知能）分野に関する用途で許諾を得ずに利用する行為は、当社の利益を不当に侵害する可能性があります。必ず事前に当社までお問い合わせください。